

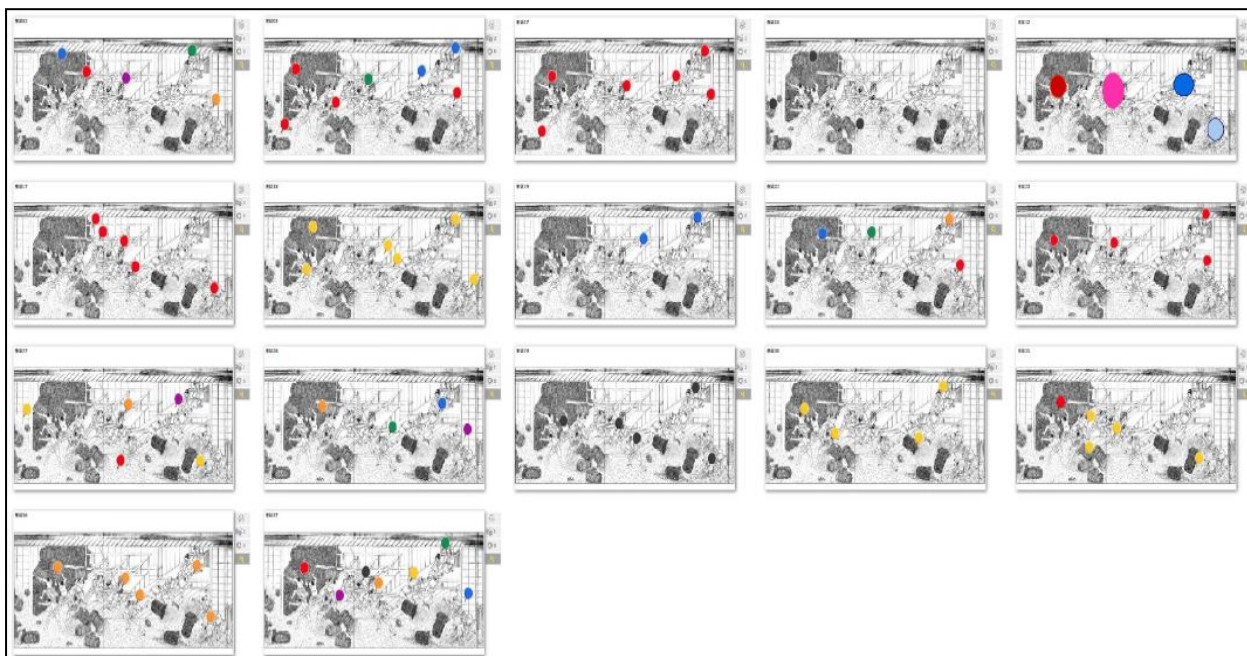
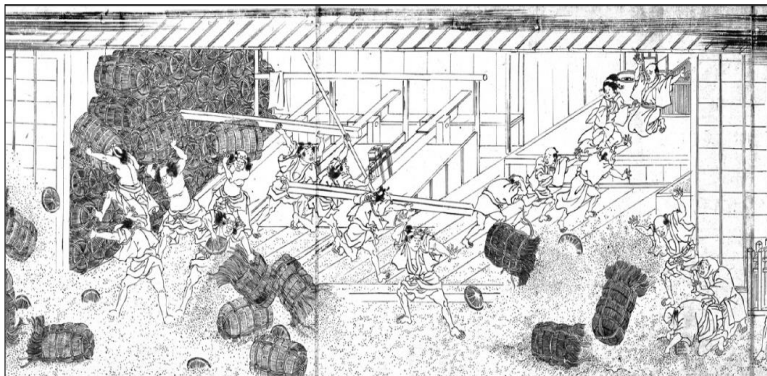
■第十中学校 2年 社会「享保の改革と社会の変化」

授業のねらい

- 徳川吉宗の政治改革の特色を理解させる。
- 幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆や打ちこわしが起こったことを理解させる。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- ムーブノートを活用し、絵画資料の中から気になる点にスタンプを置かせた。
- 資料から当時の社会情勢や民衆の動きを読み取り、社会がどのように変化していったのかを考えられるようにした。
- 他者と協働しながら学習を展開することで、それぞれの生徒の気になるポイントの違いなど差異を活用し、より多面的な視点から資料を読み解けるようにした。



生徒の様子

- 絵画資料の気になる点についてスタンプを置くという、歴史的知識が必要ない活動のため、歴史に詳しくない生徒も「この人は何をしているのだろうか」と興味をもって、楽しく取り組むことができていた。また、他者がスタンプを置いた場所を共有することで、自身では気にしなかった点にも目を向けることができ、クラス全体で交流しながら社会の変化、動きについて考えることができた。

成果

- ムーブノートで生徒同士の気づきを共有することで、それぞれの個別の気づきを生かした、協働的な学びを展開することができた。また、自身では気にしなかった点にも目を向け、注意深く観察を行うことで、多面的・多角的視点から、資料の背景にある社会の変化について考え、深い学びを実現することができた。

課題

- スタンプを置くことができ、全生徒のスタンプを共有して試みることができる反面、全員のスタンプを一枚の資料で映してしまうと、画面一杯にスタンプが出てしまい、資料が見づらくなってしまった。そのため、スタンプの数を制限するなどの工夫が必要である。